

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	利用者同士が過ごしやすい環境づくりのためパーテーションや席の配置等を変えている
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	適正基準を満たした職員配置をしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	0	外階段の使用における注意喚起を掲示物や個別の声掛けで行っている。利用者の特性に応じ、過ごしやすい環境を提供していく。日常的に保護者様からの情報を確認し、事業所内で共有していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	内部での全体会議や1on1MTGを通して、運営面や個人業務に関して話し合う機会を作っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	アンケート調査においてご回答頂いた内容については職員間で共有し、今後の取り組みについて話し合いを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	社内の事業所ごとのホームページと事業所内の掲示において、毎年の評価表の結果を公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	0	定期的な事業所内部の監査を行っている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	定期的にテーマ研修や事例検討会の機会があり、管理者および指導員が対象で参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	アセスメントシートを活用し、客観的な指標をもって療育の方針を検討している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	個別療育や小集団プログラムについてミーティングを実施し意見等を出し合っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	定期的に活動内容を見直し、話し合いを持ちながら今後の方針を決定していく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	お子様の学校後の様子を確認して支援内容を変更したり、長期休み中の目標を再設定したりと状況に応じて、都度支援内容を検討している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	基本的に個別療育を提供しているが、集団で課題があるお子様に関しては小集団活動にお声がけし、そこでの様子などを丁寧にアセスメントしていく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	終礼においてその日の情報共有、翌日の支援の確認、共有事項の確認の時間をとっている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	日々の支援記録については担当した指導員が記録をつけ、共有や検討が必要なことについては教室ミーティング内において全体で確認をしている
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	基本的に6か月周期でモニタリングを実施し、支援計画の目標の見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	0	0	同じ活動だけでなく、お子様のニーズを把握しながら複数の活動を組み合わせながら支援を提供している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	0	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	1	保護者様を通して、在籍している学校の行事や、お子様の様子などを確認している。トラブルに関しては、事業所内相談支援などの機会に保護者様からお話を伺っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	2	該当児童なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	0	必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	1	必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	今年度はリハセンの出張研修を受講(zoom研修)し言語聴覚士の方から助言やご指導を頂いた
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	療育提供後のフィードバックや事業所な相談支援において、日頃から保護者様との情報交換を密に行っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	現状、プログラム化されたペアレント・トレーニングは実施できてはいない。ご要望に応じて検討していく
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	必要に応じて行政への問い合わせなどを行い、丁寧に保護者様への説明を行っている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	事業所内相談支援を実施し、保護者様からの相談を傾聴し、支援に繋げている。保護者様から気軽にご相談頂ける環境づくりを今後も努めていく
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2	地域の感染状況を加味し、安全に配慮しながら保護者様からのニーズにこたえていく

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	お子様や保護者様からあった相談等はすぐスタッフ間で共有され対応についての検討を行っている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	チラシの作成や SNS の活用など複数のツールを使って教室内の取り組みを発信できる環境をつくっている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	個人情報に関わるものに関しては、事業所内のみで使用し、使用後は鍵付きのロッカーや引き出しに保管している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	特性に応じて個室で区切られた場所で支援や相談を受ける場合もある
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	各種マニュアルごとにファイリング。定期的に注意喚起などを行い、事業所内の対策について発信していく。掲示物やブログなどを活用し、利用者様や保護者様に周知ができる工夫を検討していく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	水害、地震、火災など複数の非常災害を想定した避難訓練を実施している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	管理者が県の虐待防止研修を受講し、その後、事業所内で全職員を対象に研修を行う
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	内部で共有している。また、個別支援計画においても記載がある。身体拘束の判断については予めマニュアル化し職員周知を行う。また、契約時に保護者への説明を引き続き行う
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	1	対象児なし
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	出来事を共有、確認した後にヒヤリハットを作成し、再発防止に努めていく

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校 保護者等数（児童数）： 26 回収数： 24 割合： 92 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2 3	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2 0	4	0	個人差があるなど感じる ・内部・外部研修を継続的に実施し専門性の向上を図ります。また、支援方針や支援内容に関しては、教室全体で共有し統一した支援を提供できるようにしていきます
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1 3	5	6	外の段差が高い階段に空調からの水が流れて毎度滑るので気をつけています ・設備の老朽化による原因が考えられるので、管理会社に相談の上、対応を検討致します。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	2 4	0	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	2 4	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	1 5	・希望していません ・きらり内の交流で十分です
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2 4	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2 4	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2 3	1	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1 3	6	コロナ前は「はい」 ・地域の感染状況を加味し、安全に配慮しながら保護者様からご希望があれば開催を検討していきます
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1 9	5	0	不明 ・定期的に SNS(ブログやInstagram)において事業所内の情報発信を行っていきます
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2 4	0	0	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	3	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	2	4	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	0	3	1	・定期的に SNS(ブログやInstagram)において事業所内の情報発信を行っています。また、実施後の報告を事業所内で掲示していきます
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	8	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	2	4	0	0	・お子様の笑顔があふれる時間を一緒に過ごせるように、今後も支援を提供していきます
	⑱	事業所の支援に満足しているか	2	3	1	0	細かいところまで気づいて頂けて、大変助かっています。ありがとうございます。 ・引き続き、保護者様に寄り添い、お子様の成長の手助けができる事業所を目指していきます。今後ともよろしくお願ひ致します。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。